



立江中学校閉校に当たり

小松島市議会議長 井村 保裕

昭和22年に那賀郡立江町立江中学校として創立され、昭和26年に小松島市との合併により小松島市立江中学校と校名を改称して以来、69年の長きにわたり地域と密着した教育環境での学校運営でありました。地域には、親・子・孫と何代にもわたって学び通った家庭も多くあり、立江中学校の歴史は、単に学校運営だけではなく地域の方々にとっての歴史ではなかったでしょうか。以来、地域からは博士や医者や研究者などたくさんのご功績を残された先輩方を輩出し、時代を追っても立江中学校に通う子どもたちに、その功績や研究内容が受け継がれてまいりました。また、先生方や指導者のご尽力によりまして、スポーツや文化活動・弁論大会等においても全国で活躍する選手や生徒をたくさん輩出してまいりました。

このような中、このたびの坂野中学校との統合に伴い、本校の輝かしい歴史に終止符が打たれることは誠に残念でなりません。かけがえのない青春時代を過ごした思い出深き母校の閉校に、卒業生や同窓生の方々の胸中はいかばかりかと拝察する次第であります。しかしながら、脈々と受け継がれてきた伝統と崇高な精神は、これからも引き継がれていくと確信しています。校訓にもありますように、「自主」「協同」「勉学」も含めまして、ぜひとも新しい環境での中学校運営にも引き継いでいただきたいと思えます。

そして、生徒の皆さんにおかれましては、立江中学校での思い出を胸に、新しい環境のもと、中学校での再スタートを切ってほしいと思えます。輝かしい中学校生活になりますよう祈念いたします。

終わりになりますが、小松島市議会といたしましても、新しい中学校の教育環境の充実も含め、本市教育の学力向上と、さらなる振興に全力で取り組んでまいり所存でありますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。関係各位の長年にわたりますご尽力に対しまして深くお礼を申し上げ、私からのあいさつといたします。

今まで本当にありがとう、小松島市立江中学校。

地域の人々に守り育てられた立江中学校。いつまでも多くの人の心の中に残ることでしょう…。